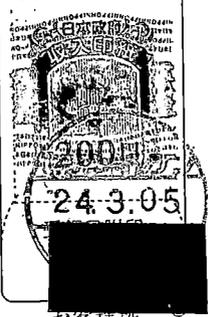
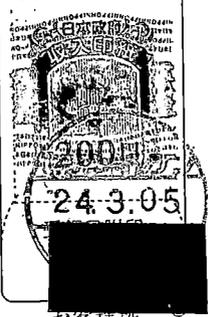
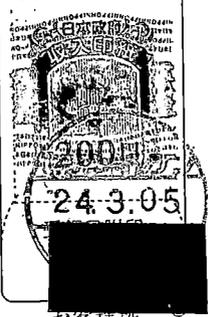


支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	静岡新聞データベース plus 日経テレコン利用料		
年月日	令和6年 3月 5日 ~ 令和 年 月 日	金額	57,200 円

目的	調査研究など政務活動を行う為の情報収集手段																		
使途	令和6年 2月分 利用料 (2アカウント分)																		
政務活動・ 県政との 関連性	調査研究の為の情報収集をし、政策や質問に生かしていく。																		
<<領収書貼付枠>> <table border="1" style="float: right; margin-top: 20px;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"> 払込受領証 (コンビニエンスストア用) </td> </tr> <tr> <td>払込人氏名</td> <td>自民改革会議 様</td> </tr> <tr> <td>お客様コード</td> <td>XXXXXXXXXX</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>57200 円</td> </tr> <tr> <td>内消費税</td> <td>5200 円</td> </tr> <tr> <td>受取人</td> <td>日経メディアマーケティング株式会社</td> </tr> <tr> <td>受領印</td> <td>  </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">お客様控</td> </tr> </table>				払込受領証 (コンビニエンスストア用)		払込人氏名	自民改革会議 様	お客様コード	XXXXXXXXXX	金額	57200 円	内消費税	5200 円	受取人	日経メディアマーケティング株式会社	受領印		お客様控	
払込受領証 (コンビニエンスストア用)																			
払込人氏名	自民改革会議 様																		
お客様コード	XXXXXXXXXX																		
金額	57200 円																		
内消費税	5200 円																		
受取人	日経メディアマーケティング株式会社																		
受領印																			
お客様控																			

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動	57,200 円	/	57,200 円
		100%	

請求書

2024年03月01日

001/001

〒420-8601
静岡県
静岡市葵区追手町9-6

自民改革会議 様



ご請求番号	[Redacted]
お客様コード	[Redacted]
ご請求年月	2024年02月 ご利用代金
ご請求額	57,200 円

登録番号 T7010001025724

振込手数料は貴社にてご負担お願い申し上げます。
 口座名 日経メディアマーケティング株式会社
 振込先 三井住友銀行 東京中央支店 (当) 252732
 三井住友銀行 京橋支店 (当) 6572717
 みずほ銀行 鬼町支店 (当) 0120986
 三菱UFJ銀行 日本橋支店 (当) 9025980

〒100-8060
東京都千代田区大手町1-3-7
日経メディアマーケティング株式会社

お問い合わせ先：弊社ホームページのFAQをご参照、または下記担当まで
 請求・入金室 kanri@nikkeimm.co.jp
 静岡新聞社 054-284-9661

2024年02月 ご請求内訳

ご利用先名/ユーザーコード	月基本料	情報利用料	合計
政務調査事務所 静岡新聞データベースplus日経PLON	26,000	0	26,000
政務調査事務所 静岡新聞データベースplus日経PLON	26,000	0	26,000
項目計	52,000	0	52,000
合計(10%対象)	52,000	消費税 5,200	請求額合計 57,200



支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	新聞購読料 (静岡・読売・毎日・朝日・産経・中日・日経・木材)		
年 月 日	令和6年2月26日～令和6年 2月28日	金 額	58,400 円

目 的	調査研究に関する情報収集
使 途	令和6年2月分 購読料
政務活動・ 県政との 関連性	政務活動の調査研究における情報資料

《領収書貼付枠》

領収証 (口座振替)

支店 区域 順路 No. 振
01 013 074 [Redacted] 自民改革会議 様

※は軽減税率対象です

品名	個数	金額(円)	備 考	領収金額 (含消費税)
※朝日新聞朝刊	2	8,400		8,400 円
				2024 年 02 月分
				領収致しました。(引落日)
				2024 年 02 月 26 日
10%対象	0	(内消費税 0)		
8%対象	8,400	(内消費税 622)		

静岡中央新聞販売(株) 登録番号: T3080001023923 [Redacted]

静岡市葵区竜南3丁目17-2 [Redacted]

フリーダイヤル 0120-57-7700 TEL 054-295-7700 [Redacted]

ご購入ありがとうございます。本証はご保存下さい。金額その他を訂正したものは無効です。

案分の理由 全て政務活動	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	58,400 円	100%	58,400 円



〒420-0853

静岡市葵区

追手町

県庁本館

3F

自民改革会議

<金融機関口座振替済>

9-6

領収証

(21-06)【お客様照会番号】

24年 2月分

2-2

ご購入ありがとうございます
ございます。

購読紙	数	金額
*毎日新聞 朝刊	2	8,400
*日経新聞 朝刊	1	4,800
*産経新聞 朝刊	2	7,800
合計	*****	*****

*軽減税率対象

取次店 八千代町

登録番号T7080001000654

24年 2月 26日

文字訂正印,領収印無きは無効



〒420-0853

静岡市葵区

追手町

県庁本館

3F

自民改革会議

<金融機関口座振替済>

9-6

領収証

(21-06)【お客様照会番号】

24年 2月分

ご購入ありがとうございます
ございます。

購読紙	数	金額
*日刊木材新聞	1	6,200
*静岡新聞	2	6,600
合計 [税込]		¥33,800
(8%税抜対象額 31,296 消費税 2,504)		

*軽減税率対象

取次店 八千代町

登録番号T7080001000654

24年 2月 26日

文字訂正印,領収印無きは無効



読売新聞 領収書

区域113 全戸0056
登録番号 T4040001007854

お問合せNo

20
2231代
-2083

お名前 自民改革会議 様
静岡県庁東館東12-2-12-3

06年 2月分 振替

銘柄	部数	金額	左記の通り領収しました
1 読売新聞朝刊 *	2	7,400	
2			
3			
合計		7,400円	領収日 年 月 日

*は軽減税率(10.0%対象 0円消費税 0円)
(8.0%対象 7,400円消費税 548円)



読売センター静岡県庁前

株式会社よみうりエコー

静岡県静岡市葵区駒形通3-3-3

TEL 054(252)0441



※裏面もあわせて内容を十分お読みください。



領収証

追手町 9-6 本館3階

2024年 2月分

お問合せNo

(519) 5.00自振

(8%対象 8,800 税 651)

(10%対象 0 税 0)

自民改革会議 様

銘柄名(*は軽減税率対象)	部数	金額	備考
*中日朝夕刊セット	2	8,800	

合計金額

8,800円

ドラゴンズ卓上カレンダー税込1,100円

好評発売中!
株式会社 静岡中日サービス
登録番号 T9080001011146



支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	コピー機リース代 2月分 (大部屋奥・大部屋入口・役員室・政調 4台分)		
年月日	令和6年 2月 5日 ~ 令和 年 月 日	金額	70,108 円

目的	_____
使途	_____
政務活動・ 県政との 関連性	_____
<<領収書貼付枠>> コピー機リース代 2月分 (大部屋奥 1台分) ￥15,768 : " 2月分 (大部屋入口・役員室・政調 3台分) ￥54,340	

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動	70,108 円	/	70,108 円
		100%	

2-3

自民改革会議 御中

発行日 2024年02月07日

領収証番号 0000000951

リコーリース株式会社

登録番号 T7010601037788

東京都千代田区紀尾井町4-1

領 収 証

毎々格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
下記金額を正に領収させていただきましたこと、お知らせ申し上げます。

印紙税申告納
付につき越町
税務署承認済

領 収 日	2024年 2月 5日
領 収 額	70,108 円

お支払方法	口座振替
振替口座	シ〃ミンカイカクカイキ〃 タ〃イヒヨウ マスタ〃タカヒロ

口座番号の下3桁は、お客様情報保護のため「***」と表示しています。

領収明細書

契 約 番 号	請 求 期 間	回 数	金 額	消 費 税 等	税 率
[REDACTED]	24. 2. 1~24. 2. 29	54	14600	1168	08
[REDACTED]	24. 2. 1~24. 2. 29	35	49400	4940	10

続きは裏面をご覧ください。

支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・ <u>広報</u> 費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	自民改革会議ホームページ更新費用		
年 月 日	令和6年 2月 29日 ~ 令和 年 月 日	金 額	24,530 円

目 的	県政に係る情報等を県民に報告
使 途	令和6年 2月分 更新料
政務活動・ 県政との 関連性	県の施策、議会での発言内容、政務活動状況などを掲載し、情報を広く伝えるとともに意見を聴取し、県政に反映させる。
<<領収書貼付枠>> 振込手数料 330 円 24,200 円+330 円=24,530 円	

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動	24,530 円	/	24,530 円
		100%	

処理日時 2024年02月27日 16時25分25秒

2-4
2-5

■取引情報

取引ID	240227000568026
受付番号	0227002
取引種別	振込振替
振込指定日	指定日 02月29日
取引名	02月27日作成分
振込メッセージ	-

■振込元情報

支払口座	[REDACTED]
------	------------

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	ささがせ支店 (374) 普通 0480639
受取人名	イマクロデザイン コケトピコ
登録名	イマクロデザイン

■振込金額

入金金額	57,200円
振込手数料	330円
引落合計金額	57,530円

2-4
2-5 合算

■依頼者情報

依頼者	[REDACTED]
依頼日	2024年02月27日

■承認者情報

承認者	[REDACTED]
承認期限	2024年02月29日
承認日時	2024年02月27日 16時25分
コメント	会派HP更新費用 (R6. 2月分) 政務活動費管理システム保守サポート費用 (R6. 2月分)

振込依頼を受けました。
振込依頼は 2月29日扱いです。

NO. 202402-04
2024年 2月 25日

御 請 求 書

自民改革会議 様

Imacro Design

イマクロデザイン

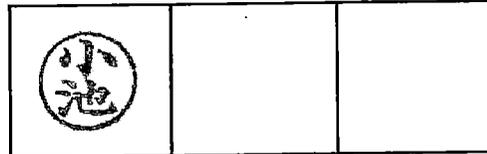
2-4
2-5

〒435-0006 静岡県浜松市東区下石田町136
TEL 053-422-7017
登録番号 T9810734041087

担当者 小池 敏彦

下記の通り、ご請求申し上げます。

合計金額 **¥57,200**



品名	数量	単価	金額	備考
自民改革会議様ホームページ				
2024年2月分サーバレンタル・更新管理費	1 式	22,000	22,000	
政務活動費管理システム				
2024年2月分保守サポート費用	1 式	30,000	30,000	
合計(税無)			¥52,000	
消費税(10%)			¥5,200	
総計(税込)			¥57,200	

備考:

振込先: 静岡銀行ささがせ支店(普) 0480639 イマクロデザイン 小池敏彦

領収書

2-4

2024年2月29日

自民改革会議 様



〒435-0006 静岡県浜松市東区下石田町136
TEL 053-422-7017 担当者 小池敏彦

登録番号 T9810734041087

下記の通り領収いたしました。

合計金額 **¥24,200 (内消費税 ¥2,200)**

収入

印紙

(以下明細)

商品名	単価	数量	金額
2024年2月分更新費用、サーバレンタル費用	22,000	1	¥22,000

税抜合計金額 ¥22,000

内消費税額(10%) ¥2,200

領収書

2-5

2024年2月29日

自民改革会議 様



〒435-0006 静岡県浜松市東区下石田町136
TEL 053-422-7017 担当者 小池敏彦

登録番号 T9810734041087

下記の通り領収いたしました。

合計金額 **¥33,000 (内消費税 ¥3,000)**

収入

印紙

(以下明細)

商品名	単価	数量	金額
2024年2月分 政務活動費管理システム保守サポート費用	30,000	1	¥30,000

税抜合計金額 ¥30,000

内消費税額(10%) ¥3,000

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	プロバイダー料 2月分		
年月日	令和6年 2月 29日 ~ 令和 年 月 日	金額	3,850円

目的	_____
使途	_____
政務活動・ 県政との 関連性	_____
<<領収書貼付枠>> 3520円 + 振込手数料330円 = 3,850円	

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動	3,850円	/	3,850円
		100%	

処理日時 2024年02月27日 16時22分28秒

2-6

■取引情報

取引ID	240227000564769
受付番号	0227001
取引種別	振込振替
振込指定日	指定日 02月29日
取引名	02月27日作成分
振込メッセージ	-

■振込元情報

支払口座	[REDACTED]
------	------------

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	草薙支店 (147) 普通 0645922
受取人名	かトコちゃんねる 株式会社
登録名	(株)トコちゃんねる静岡

■振込金額

入金金額	3,520円
税込手数料	330円
引落合計金額	3,850円

■依頼者情報

依頼者	[REDACTED]
依頼日	2024年02月27日

■承認者情報

承認者	[REDACTED]
承認期限	2024年02月29日
承認日時	2024年02月27日 16時22分
コメント	プロバイダー料金(R.62月分)

振込依頼を受けました。
振込依頼は 2月29日扱いです。

〒420-8601
静岡県葵区追手町9-6

自民改革会議 御中

適格請求書発行事業者登録番号 T1080001002664



2-6

請求書

自民改革会議 御中

請求No. 2024020052

2024年2月9日

〒424-0888 静岡県清水区中ノ郷2-1-5
株式会社 トコちゃんねる静岡

TEL054-347-9811

下記の通り御請求申し上げます。

請求金額 ¥3,520 -

摘要	数量	単位	単価	金額
ひかりファミリー隼コース(月払) 2024年02月分	2	ID	¥1,600	¥3,200
小計				¥3,200
消費税 (10%)				¥320
合計				¥3,520

お支払いは下記銀行弊社口座へ2024年3月 末迄にお振り込み下さい。

静岡銀行 草薙支店

口座番号 普通口座 No. 0645922

口座名義 株式会社トコちゃんねる静岡

※振込手数料につきましては、貴社負担にてお願いいたします。

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	事務用品購入料 2月分		
年月日	令和6年 2月 29日 ~ 令和 年 月 日	金額	13,931円

目的	_____
使途	_____
政務活動・ 県政との 関連性	_____
<<領収書貼付枠>> 13,601円 + 振込手数料330円 = 13,931円	

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動	13,931円	/	13,931円
		100%	

2-7

No. 12602

領 収 証

印
紙

自民改革会議 様

金額	千万	百万	十万	万	千	百	十	円
			4	1	3	6	0	1

係 印

但

上記金額正に領収致しました

2024年 2月 29日

内 訳

現金		円
小切手		円
手形	/	円
振込		円
相殺		円

オフィス用品専門店
 株式会社 島村 文堂
 代表取締役 島村 武 慶
 静岡県静岡市西区1丁目15-8
 TEL (054) 633-1305(代)
 FAX (054) 633-1309

処理日時 2024年02月27日 16時26分57秒

2-7

■取引情報

取引ID	240227000569634
受付番号	0227003
取引種別	振込振替
振込指定日	指定日 02月29日
取引名	02月27日作成分
振込メッセージ	-

■振込元情報

支払口座	[REDACTED]
------	------------

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	藤枝駅支店 (166) 普通 0128539
受取人名	カシマトウフントウ
登録名	嶋島村勝文堂

■振込金額

入金金額	13,601円
税込手数料	330円
引落合計金額	13,931円

■依頼者情報

依頼者	[REDACTED]
依頼日	2024年02月27日

■承認者情報

承認者	[REDACTED]
承認期限	2024年02月29日
承認日時	2024年02月27日 16時26分
コメント	文房具 (R6. 2/20 切分)

振込依頼を受けました。
振込依頼は 2月29日扱いです。

smartoffice 請求明細書

2-7

900231

1/1

〒420-0853

静岡県静岡市葵区追手町9-6

自民改革会議

株式会社 島村騰文堂

登録番号 T6080001016445

〒426-0061

静岡県藤枝市田沼1丁目15番8号

御中

TEL: 054-635-1305

FAX: 054-635-1309

当月ご請求金額 13,601 円

軽減税率(8%)対象商品は商品名の頭に「※」がつきます。

月日	伝票番号	注文 コード	商品名	税率	数量	単価 (税抜き)	金額 (税抜き)	行コメント
24/01/26	44385773	151206	サインペン S520-BD 赤 ぺんてる	10	2	67	134	
		367907	録画DVD/R10枚VHR12JPP10 Verba	10	1	930	930	
		553989	ボックスファイル FL-099BF A4E 濃灰 10冊 プラス	10	1	1,241	1,241	
		553988	ボックスファイル FL-099BF A4E 青 10冊 プラス	10	1	1,241	1,241	
		175162	修正テープ モノXX カートリッジ CT-YR4 トンボ鉛筆	10	4	185	740	
		477881	ホッチキス針 NO.10-1M 1000本 MS91187 マックス	10	2	54	108	
			伝票コメント: 担当者: 自民改革会議 様			伝票計	4,394	
24/02/09	44429582	848893	蛍光オプテックス1 EZ オレンジ WKS11-OR ゼブラ	10	2	56	112	
		764593	エナージェル・エス BLN123-A 黒 0.3 ぺんてる	10	1	75	75	
			伝票コメント: 担当者: 自民改革会議 様			伝票計	187	
24/02/09	44429583	325372	コピーペーパー 中性紙 A4 5000枚 A020J スマートバ	10	1	3,892	3,892	
		325374	コピーペーパー 高白色 A4 5000枚 A040J スマートバ	10	1	3,892	3,892	
			伝票コメント: 担当者: 自民改革会議 様			伝票計	7,784	
			商品合計(税抜)			12,365円		
			総合計(税抜)			12,365円		
			総合計(税込)			13,601円		
			【税率 8%対象			0円	(内消費税	0円)
			【税率 10%対象			13,601円	(内消費税	1,236円)
			【税率 0%対象			0円	(内消費税	0円)

smartofficeのご利用ありがとうございました。

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	電話料 12月分		
年月日	令和 6年 2月 29日～ 令和 年 月 日	金額	7,780 円

目的	_____
用途	_____
政務活動・ 県政との 関連性	_____

※納付場所等は裏面を御覧下さい。

静岡県 納入通知書兼領収書 公

14

420-8601
静岡県静岡市葵区追手町
9-6

自民改革会議 代表 増田 享大
(電話料金) 様

年度	令和 5 年度	会計科目	会計 01 款 14 項 07 目 02 節 08			
収納機関番号	22000	納付番号	23000 01013 00000 15532			
調定番号	2300541-	1	確認番号	051415	納付区分	315
金額	7,780 円		納期限	令和 6年 2月29日		

所属名 (連絡先) 経営管理部 財務局 電話： 054-221-2123

ただし 県庁舎管理費負担金
N T T 電話使用料 (令和 5 年 1 2 月分)

上記の金額を納期限までに納めてください。
令和 6年 2月14日

静岡県知事

指定
静岡県指定代理金融機関
収納代理

領収書印
出納済
6. 2. 29
静岡銀行
県庁

ゆうちょ銀行・郵便局の窓口又は A T M でお支払いの場合は、左図一枚をお出しください。

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動	7,780 円	100%	7,780 円

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	静岡銀行 Web-PCバンキング利用料、データ伝送利用料 2月分		
年月日	令和6年 3月 15日～ 令和 年 月 日	金額	5,500円

目的	_____
使途	_____
政務活動・ 県政との 関連性	_____
<<領収書貼付枠>> 通帳の写は「2-10」に添付	

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動	5,500円	100%	5,500円

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	コピーカウント料 2/20 検針分		
年月日	令和 6年 3月 21日～ 令和 年 月 日	金額	67,842 円

目的	資料等のコピー
使 途	令和6年2月分 カウント料
政務活動・ 県政との 関連性	政務活動に関する資料作成

《領収書貼付枠》

年 月 日	記号	お支払い金額	お預かり金額	差し引き残高	備 考
1					
2					
3					
4					
7	06-03-15 BF	2-9 *1,650	WEB-PCテストリヨ		
8	06-03-15 BF	*3,850	データ伝送		
11	06-03-21 BF	2-11 *4,566	RL)リコーシャハロン		
12	06-03-21 BF	2-10 *67,842	RL)リコーシャハロン		

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動	67,842 円	/	67,842 円
		100%	

ご請求書
(兼 振替予定金額のお知らせ)

RICOH

420-8601
静岡県静岡市葵区追手町
9-6 静岡県庁本館3F

自民改革会議 様

レージ:0001/0003

発行日2024年02月20日 請求No. 24028588548

リコージャパン株式会社
登録番号: T1010001110829
お問合わせ 請求書お問い合わせ窓口
吹田市江の木町34-5



2-10

221AKA1004005# 006273 0001/0003

TEL:0120-138-970 5010331 50100083

※電話番号のお掛け間違いにご注意ください

お客様コード

下記の通りご請求申し上げます。

2024年02月20日締分 振替口座は右記の通りです。

今回ご請求金額(税込) 67,842 円

2024年03月21日に上記金額を振替させていただきます。

【お取引明細】

月日	商品名	伝票No. ご発注No.・備考	数量	単価	お買上金額 [税抜]	消費税金額
02.20	IMC3000 パフォーマンスチャージ	123001 02/10 シメ			3,900	--
02.20	IMC3000 パフォーマンスチャージ	123002 02/10 シメ			6,519	--
02.20	IMC3500 パフォーマンスチャージ	123003 02/10 シメ			37,615	--
02.20	IMC3500 パフォーマンスチャージ	123004 02/10 シメ			13,641	--
	お買上金額 合計	(税込)	67,842)		61,675	6,167
		10%対象 (税込)	67,842)		61,675	6,167

【お知らせ】

お問合せの際は、請求書右上の請求Noをお伝え下さい。お振込の場合は手数料ご負担をお願い致します。手数料不要の口座引落もご用意しております。

■サービス料金計算明細【控え】

<伝票No. 123001 >
・トナー込み契約です。

IMC3000 機番: 624150	今回検針内容 2月10日	前回検針内容 1月10日	ご使用カウント
モノカラー総出力	11,658 カウント	11,541 カウント	117 カウント
フルカラー総出力 ①	7,509 カウント	7,486 カウント	23 カウント
フルカラーコピー (①-②)	1,814 カウント	1,794 カウント	20 カウント
フルカラープリント ②	5,695 カウント	5,692 カウント	3 カウント

パフォーマンスチャージ 基本料金	単価/金額	カウント/月/率	内訳金額
合計(税抜き)	3,900円	1ヶ月	3,900円

<伝票No. 123002 >
・トナー込み契約です。

設置先名: 自民改革会議 IMC3000 機番: 658066	今回検針内容 2月10日	前回検針内容 1月10日	ご使用カウント
モノカラー総出力	89,777 カウント	87,413 カウント	2,364 カウント
フルカラー総出力 ①	14,098 カウント	14,008 カウント	90 カウント
フルカラーコピー (①-②)	10,165 カウント	10,102 カウント	63 カウント
フルカラープリント ②	3,933 カウント	3,906 カウント	27 カウント

ご 請 求 書

RICOH

420-8601
静岡県静岡市葵区追手町
9-6 静岡県庁本館3F

自民改革会議 様

〒:0003/0003

発行日2024年02月20日 請求No. 24028588548

リコージャパン株式会社
登録番号:T1010001110829
お問い合わせ 請求書お問い合わせ窓口
吹田市江の木町34-5



2-10



TEL:0120-138-970 5010331 50100083

※電話番号のお掛け間違いにご注意ください

221AKA1004005 006275 0003/0003

お客様コード

バフォーマンスチャージ	単価/金額	カウント/月/率	内訳金額
モノカラー総出力		3,346カウント	
控除 1%の控除カウント		34カウント	
請求カウント		3,312カウント	
1 - 2000 /月	2.3円	2,000カウント	4,600円
2001 - 5000 /月	1.8円	1,312カウント	2,361円
フルカラーコピー		133カウント	
控除 1%の控除カウント		2カウント	
請求カウント		131カウント	
1 - 1000 /月	15.6円	131カウント	2,043円
フルカラープリント		358カウント	
控除 1%の控除カウント		4カウント	
請求カウント		354カウント	
1 - 1000 /月	13.1円	354カウント	4,637円
合計 (税抜き)			13,641円

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>事務費</u> ・事務所費・人件費		
内容	事務用品購入料 (コピー用紙代)		
年月日	令和 6年 3月 21日 ~ 令和 年 月 日	金額	4,566 円

目的	_____
使途	_____
政務活動・ 県政との 関連性	_____
<領収書貼付枠> 通帳の写いは「2-10」に添付。	

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動	4,566 円	/	4,566 円
		100%	

ご請求書
(兼 振替予定金額のお知らせ)

RICOH

420-8601
静岡県静岡市葵区追手町
9-6 静岡県庁 本館 3階

自民改革会議 様

ページ:0001/0001

発行日2024年02月20日 請求No. 24028588549

登録番号:T1010001110829
お問合わせ 請求書お問い合わせ窓口
吹田市江の木町34-5



2-11



221AKA1000398# 000398 0001/0001

TEL:0120-138-970 5010331 50100083
※電話番号のお掛け間違いにご注意ください

お客様コード

下記の通りご請求申し上げます。

2024年02月20日締分 振替口座は右記の通りです。

今回ご請求金額(税込) 4,566 円

2024年03月21日に上記金額を振替させていただきます。

【お取引明細】

月日	商品名	伝票No.	数量	単価	お買上金額 [税抜]	消費税金額
	02.15 LB WHITE A4T 500X10 ケース	N08992	1	4,151	4,151	—
	お買上金額 合計				4,151	415
		10%対象			4,151	415

【お知らせ】

お問合わせの際は、請求書右上の請求Noをお伝え下さい。お振込の場合は手数料ご負担をお願い致します。手数料不要の口座引落もご用意しております。

令和 6年 2月分給与

明細書

自民改革会議

氏名
所属

2-12

支給日 令和 6年 2月29日

受領印

勤 怠		支 給		控 除		そ の 他	
所定就労日	19.00	基本給(月給)	250,000	健康保険料	12,675	年末調整還付	0
				介護保険料	2,366	年末調整徴収	0
		非課税通勤費	7,980	厚生年金保険	23,790		
		前月修正	0	社保料調整	0		
				雇用保険料	1,548	合 計	0
				所得税	5,130	差引支給額	201,571
				住民税	10,900		
						振 込 支 給 額	
						合 計	201,571
						現金支給額	0
						現物支給額	0
						基本保険料	7,683
						特定保険料	4,992
						社会保険料計	40,379
		合 計	257,980	合 計	56,409		

税 額 表	甲欄
扶養人数	0

令和 6年 2月分給与

明細書

自民改革会議

氏名
所属

支給日 令和 6年 2月29日

受領印

勤 怠		支 給		控 除		そ の 他	
所定就労日	19.00	基本給(月給)	215,000	健康保険料	10,725	年末調整還付	0
				介護保険料	2,002	年末調整徴収	0
		非課税通勤費	3,600	厚生年金保険	20,130		
		前月修正	0	社保料調整	0		
				雇用保険料	1,312	合 計	0
				所得税	4,050	差引支給額	175,581
				住民税	4,800		
						振 込 支 給 額	
						合 計	175,581
						現金支給額	0
						現物支給額	0
						基本保険料	6,501
						特定保険料	4,224
						社会保険料計	34,169
		合 計	218,600	合 計	43,019		

税 額 表	甲欄
扶養人数	0

交通費：18日×200円

476,580

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・ <u>人件費</u>		
内容	社会保険料事業主負担分 1月分		
年月日	令和6年 2月 29日 ~ 令和 年 月 日	金額	76,403 円

目的	_____
使途	_____
政務活動・ 県政との 関連性	_____
<<領収書貼付枠>> <div style="text-align: right;">事業主負担分</div> 12月分社会保険料 145,104 円 — 12月分個人負担分 68,701 円 = 76,403 円	

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動	76,403 円	/	76,403 円
		100%	

2-13

納入告知書 納付書* 領収証書

国庫金

厚生保険

年度 年金特別会計 内閣府及び厚生労働省所管 取扱庁番号

5 0343 6375 00064145

取扱庁名

厚生労働省年金局(静岡)



納付目的
令和 6年
1月分

納付期限
令和 6年
2月29日

健康勘定
健康保険料
55536 円

厚生年金勘定
厚生年金保険料
87840 円

子ども・子育て支援勘定
子ども・子育て拠出金
1728 円

納付目的
健康保険料
厚生年金保険料
子ども・子育て拠出金
令和 5年度

事業所整理記号 事業所番号 うち証券受領

00500 12233901 00020344 007367

証券受領
全部 一部

合計額
千 百 十 億 千 百 十 万 千 百 十 円
¥ 1 4 5 1 0 4

内閣府及び厚生労働省所管
年金特別会計

納付場所 日本銀行本店、支店、代理店、歳入代理店又は日本年金機構

静岡県 年金事務所
延滞金の 期限内に完納されなかったときは、延滞金の納付を要します。
計算方法 (健康保険法第181条、同法附則第9条、厚生年金保険法第87条、
同法附則第17条の14、子ども・子育て支援法第71条)
弁済の充当の順序は、元本に充て、次いで延滞金に充てる。
歳入徴収官
厚生労働省年金局事業管理課長

420-8601 静岡市 葵区 追手町
9-6
自民改革会議 様

上記の合計額を領収しました。
(領収日付等)
⑪
出納済
6. 2. 29
静岡銀行
県庁
(納付者様)

年金事務所 窓口以外で、日本年金機構の職員が窓口の徴収業務により行役することができます。
この納入告知書(納付書)はPay-easy(ペイジー)対応のATM、インターネットバンキング等を利用して納付することができます。

翌年度5月1日以降現年度歳入組入

令和 6年 1月分給与

明細書

自民改革会議

氏名
所属

2-13

支給日 令和 6年 1月31日

受領印

勤 意		支 給		控 除		そ の 他	
所定就労日	19.00	基本給(月給)	250,000	健康保険料	11,700	年末調整還付	0
				介護保険料	2,184	年末調整徴収	0
		非課税通勤費	7,980	厚生年金保険	21,960		
		前月修正	0	社保料調整	0	合 計	0
				雇用保険料	1,548	差引支給額	204,488
				所得税	5,200	振込支給額	
				住民税	10,900		
						合 計	204,488
						現金支給額	0
						現物支給額	0
						基本保険料	7,092
						特定保険料	4,608
						社会保険料計	37,392
		合 計	257,980	合 計	53,492		

税 額 表	甲欄
扶養人数	0

35,844

令和 6年 1月分給与

明細書

自民改革会議

氏名
所属

支給日 令和 6年 1月31日

受領印

勤 意		支 給		控 除		そ の 他	
所定就労日	19.00	基本給(月給)	215,000	健康保険料	10,725	年末調整還付	0
				介護保険料	2,002	年末調整徴収	0
		非課税通勤費	3,400	厚生年金保険	20,130		
		前月修正	0	社保料調整	0	合 計	0
				雇用保険料	1,310	差引支給額	175,383
				所得税	4,050	振込支給額	
				住民税	4,800		
						合 計	175,383
						現金支給額	0
						現物支給額	0
						基本保険料	6,501
						特定保険料	4,224
						社会保険料計	34,167
		合 計	218,400	合 計	43,017		

税 額 表	甲欄
扶養人数	0

32,857

@68,701

交通費：17日×200円

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議 ・ 事務局)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	会派視察 シンガポール 2月14日～18日 10名分		
年月日	令和6年 2月 29日 ~ 令和 年 月 日	金額	6,081,630 円

目的	報告書参照
使途	視察代
政務活動・ 県政との 関連性	報告書参照
<<領収書貼付枠>> 6,081,300 円 + 振込手数料 330 円 = 6,081,630 円	

案分の理由	領収書金額(a)	案分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動	6,081,630 円	/	6,081,630 円
		100%	

処理日時 2024年02月27日 16時30分52秒

2-14

■取引情報

取引ID	240227000580547
受付番号	0227004
取引種別	振込振替
振込指定日	指定日 02月29日
取引名	02月27日作成分
振込メッセージ	-

■振込元情報

支払口座	[REDACTED]
------	------------

■振込先口座

振込先金融機関	静岡銀行 (0149)
振込先口座	本店営業部 (111) 普通 1822291
受取人名	シカガキトウカ
登録名	静岡鉄道株式会社

■振込金額

入金金額	6,081,300円
税込手数料	330円
引落合計金額	6,081,630円

■依頼者情報

依頼者	[REDACTED]
依頼日	2024年02月27日

■承認者情報

承認者	[REDACTED]
承認期限	2024年02月29日
承認日時	2024年02月27日 16時30分
コメント	会派視察(シカガキ) 2/14 18 10名

振込依頼を受けました。
振込依頼は 2月29日扱いです。

令和5年度 静岡県議会シンガポール訪問報告書

令和6年2月14日（水）～令和6年2月18日（日）



PSA インターナショナルにて

令和5年度 静岡県議会シンガポール訪問報告書

【シンガポールの概要】

- 国名 シンガポール共和国
- 面積 約720平方キロメートル
- 人口 約564万人（うちシンガポール人・永住者は約407万人）（2022年）
- 民族構成 中華系74%、マレー系14%、インド系9%（2022年）
- 公用語 英語、中国語、マレー語、タミール語
- 宗教 仏教、キリスト教、イスラム教、道教、ヒンズー教
- 政治体制 立憲共和国
- 元首 ターマン・シヤンムガラトナム大統領
- 議会 一院制、任期5年、選出議員数93（与党：人民行動党83議席、野党10議席）
- 政府 1府15省と50を超える法定機関からなる
- 地方自治体 存在せず、国の各省庁や法定機関が行政サービスを提供
- 名目GDP総額 643,546百万シンガポールドル（2022年）
- 主要産業 製造業（エレクトロニクス、化学関連、バイオメディカル、輸送機械、精密機械）、ビジネスサービス、運輸・通信業、金融サービス業
- 実質GDP成長率 3.6%（2022年）
- 失業率 2.1%（2022年）
- 対日貿易額 輸出：1兆2,920億円、輸入：2兆9,340億円
- 在留邦人者数 32,743人（2022年）

1 行程

(1) 2月14(水)

各地 ⇒ 羽田空港 10:55 発 ⇒ シンガポールチャンギ空港 17:30 (現地時間、以下同様) 着

(2) 2月15日(木)

静岡県東南アジア事務所視察 (10:00~10:30) ⇒ JETRO シンガポール事務所視察 (11:00~12:00) ⇒ シンガポール港湾庁視察 (15:00~16:00)
⇒ テン・テンドー氏と会談 (18:00~20:00)

(3) 2月16日(金)

技能教育研究所 (ITE) 視察 (9:00~11:15) ⇒ ITE 関係者と会談 (12:00~13:30) ⇒ Sustenir 社 (植物工場) 視察 (14:30~16:00)

(4) 2月17日(土)・18日(日)

DON DON DONKI Orchard Central 店視察 (13:00~14:00) ⇒ チャンギ空港 ⇒ 羽田空港着 18日 5:55 着 (日本時間)

2 参加者

静岡県議会議員：宮沢正美議員、和田篤夫議員、鳥澤由克議員、佐地茂人議員、江間治人議員、小沼秀朗議員、望月香世子議員、加畑毅議員、加藤祐喜議員、赤堀慎吾議員

現地での同行者：竹田敏彦 (静岡県東南アジア駐在員事務所々長)、

(通訳)

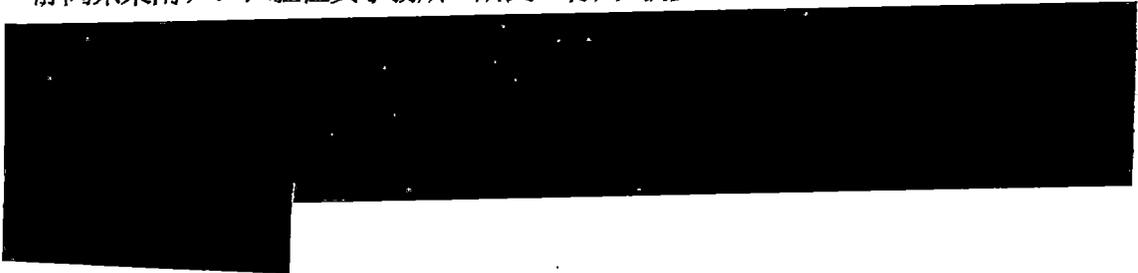
3 聴取内容

(1) 2月15日(木)

【静岡県東南アジア事務所】

ア 対応者

静岡県東南アジア駐在員事務所 所長 竹田 敏彦



イ 聴取内容

武田所長から、静岡県と東南アジア、南アジア、オセアニア地域との交流を促進するため、シンガポールに事務所を開設して、ビジネス、観光、教育、文化、行政などの分野における情報収集、提供を行なっていると事務所の説明を受けたのち、質疑応答。

<質疑応答>

Q1 シンガポールの大きさは

A1 ほぼ東京23区ほどで、端から端まで車で片道40分程度である。

Q2 国内GDPが6,435億シンガポールドルの現状は

A2 世帯所得は日本円で1,200万円くらい。共働きが多い。小さい子どもがいる家庭はフィリピン、インドネシアからお手伝いさんを雇うくらい。非常に豊かで所得が高く裕福な社会。仕事は国として単価の高い仕事をする傾向にある。小学校6年生の卒業テストで人生が決まるといわれている程厳しく、幼稚園から勉強は当たり前である。

Q3 静岡県以外に国内のシンガポール事務所はあるのか

A3 単独事務所は沖縄県、北海道だけである。静岡県を含めて3カ所。

Q4 静岡県が単独事務所になった理由は

A4 元々はジェットロに加入しており観光の仕事ができない為、静岡の製造業の企業が東南アジアに進出するのをサポートする過程でジェットロ静岡に職員を派遣したことが始まりである。企業側がジェットロに加入しているとやりづらいインバウンドの仕事がメインになってしまい、仕事の幅が狭まる為、独立事務所になった。

Q5 単独事務所になる為に県の費用の違いはあるか、どれくらい違うか

A5 違いはある。家賃費用も増える等。どのくらい違うかは不明。

Q6 インバウンドに力をいれているのは他県でも同じだが県単独では何が違うか

A6 観光、物産に力をいれており、静岡茶のペットボトル等静岡県に特化した商品の取り扱いには制限があり単独事務所にすることで内部決裁等の事務手続きの時間がかからず自由度が違う。

Q7 東南アジア事務所としてやられているがシンガポール以外のどの辺りまで交流があるか

A7 西がパキスタン、東はオーストラリアまでであるが、なかなか全ては回れない。実際にはシンガポール以外だと観光と物産の仕事でタイ、ベトナム、インドネシアの仕事が多い。最近だと、天皇陛下誕生日レセプションという大使館イベントを開催して観光と静岡茶のPR等をしたり、人材採用イベントを開催したりしている。イベント出店等、事務所として独立事務所ならではの融通の利く動きが出来る。

Q8 静岡の企業が進出しているのか

A8 コロナ以降、非常にイベントや出店は増えている。

Q9 店舗進出の声があるか

A9 静岡銀行と清水銀行の支店があり、そこでの話だと、ベトナムは進出の相談はたまにあるが、タイとインドネシアは物を売りたいという人はいるが新しい拠点を作りたい人はなかなか少ない。人が足りないという相談が中小企業の社長から多くある。日本人の大学生を採用したいが採れない為、東南アジアの優秀な若者を実習生としてではなく幹部候補として日本人の大学生と全く同じ条件で迎え入れている。

Q10 静岡県は地域外交局としてもあまり姉妹都市を増やそうとしない傾向にあるが、タイはまず行政が姉妹都市提携してそこから進めていくスタンスである。それを地域外交局から県へその段取りの方が良いことを伝えていくのがよいのではないか。

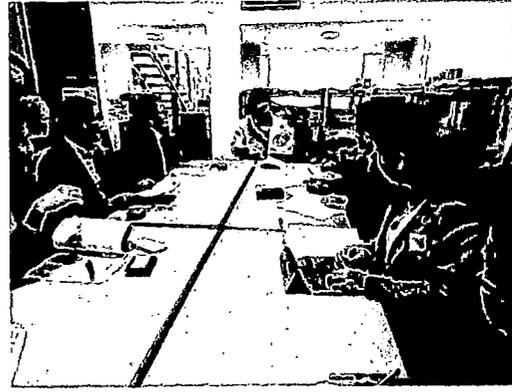
A10 現在、県が東南アジアで交流が深いのが、インドネシアの西ジャワ州くらい。ジャカルタの隣で人口 5,000 万人程。ほとんどの日系企業が西ジャワ州に集中しており、大学も複数あるので若者も多く非常に大きな都市であり交流を深める場所としては良い場所と考える。現状としては、次はインドの話が出ている。仮に姉妹都市を提携すると長い付き合いが出来るところとでは良いが解消は難しくお互いの不利益になる為、なかなか慎重に考える。

Q11 人材不足の点について、東南アジアの若者を日本で留学生として教育する等の案はないか

A11 非常に良いと考える。実際に教育機関の生徒が人材交流として互いに技術を吸収している。将来的には交換留学生としては理想である。



静岡県東南アジア事務所での研修



同左

【JETRO シンガポール事務所】

ア 対応者

日本貿易振興機構（ジェトロ）シンガポール事務所



イ 聴取内容

- ・ 2003年10月、日本貿易振興機構法に基づき、前身の日本貿易振興会を引き継いで設立された。対日投資の総合的支援機関として外国企業に対する誘致活動を行い、日本における拠点設立や事業拡大、協業連携を支援している。
- ・ 特に、高い付加価値を創出する可能性がある新しい技術やビジネスモデルを用いた事業や、生産性の向上に貢献する事業等を重点的に誘致している。また、外国企業の誘致に積極的な地方自治体と連携し、地域経済の活性化に資する外国企業の誘致にも力を入れている。
- ・ 国内外の情報・ニーズを集約し繋ぐことで、日本企業の技術・先進国型課題解決法等を活用したオープンイノベーション、デジタル技術活用によるDXを用いた国内外社会課題解決型の事業を創出させ、日本企業のグローバルな活動を加速させていくことが課題となる。

<質疑応答>

Q1 かつて日本領だったことが影響しているか

A1 高齢の方々には日本領時代はネガティブなイメージで捉えられていることは事実だが、今は日本のことは好意的に見ているようで、納得した上で日本と取引しているのがシンガポールの人々の考え方。

Q2 日本企業のイノベーションは軌道に乗っているか

A2 2014年あたりからイノベーション創出活動が始まっているので、まだ過渡期にあり可能性は大きいし、成功している企業もある。例えば、アスエネのCO2排出量を可視化する技術などがスタートアップ事例にある。

Q3 輸出が2022年から急増しているのはなぜか

A3 コロナ時期の反動と考えられ、本来であれば2019年から伸びていたと考えられる。

Q4 清水港等を利用できる点があれば教えてほしい

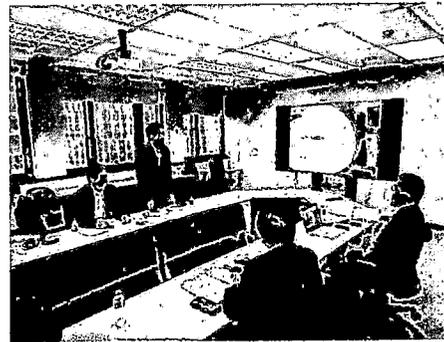
A4 食品輸出ならば小回りの利く地域商社的な規模の企業が伸びる可能性がある。

Q5 シンガポールの給与は日本のように年功序列になのか、また、再雇用の条件は

A5 定年制度はあるが、再雇用の給与は評価で決まる。日本のような定率で下がるルールはない。



JETRO シンガポール事務所



JETRO での研修

【シンガポール港湾庁 PSA(Port of Singapore Authority) Horizons Building】

ア 対応者



イ 聴取内容

シンガポールに本部を置く世界最大の港湾運営会社の一つである PSA インターナショナルを訪問し、シンガポールの物流・港湾の状況について聞き取る。会社ビル内にて役員から説明を受け、展望階より港湾施設を見学した。

- ・ PSA インターナショナルはシンガポール港湾庁が 1997 年に民営化された世界最大の港湾運営会社の一つで、シンガポールでは合計 55 バースを有し、年間 5,000 万 TEU のコンテナ積み替え能力を持つ世界最大のハブを運営している。
- ・ シンガポール政府は 2,040 年までに既存コンテナ港を西部トゥアス港へ集約する計画で工事を進めている。
- ・ 国際海運ハブ港として、他国との競争もあり、常に世界の状況に機敏に対応する意気込みが印象的であった。
- ・ 静岡県内港湾においてもカーボンニュートラルポート形成計画のもと脱炭素に配慮した港湾機能の高度化、次世代エネルギーの受け入れ環境整備等、持続可能な港湾・物流のための取り組みを推進しているが、世界の状況にアンテナを高く、整備を進める必要がある。

<質疑応答>

Q1 世界中から多くの船を受け入れる体制については

A1 シンガポール港は早くからデジタル技術を活用し通関処理の迅速化、コンテナ取扱作業の円滑化、陸上運送の効率化など力を入れ、充実した港湾設備が 24 時間動

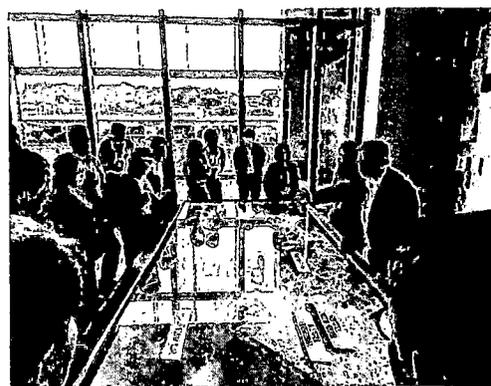
き続け、利用者の利便性に努めている。

Q2 シンガポール港の今後の展開については

A2 稼働中及び建設中の港湾において脱炭素化、省エネルギーなどに取り組み、太陽光パネルを設置し活用するなど、より環境に配慮した港湾・物流業界の持続可能な成長を推進している。



シンガポール港



PSA での研修

【静岡県東南アジア事務所 会談】

ア 略歴

は、最初の外国人社員として花王(株)に勤務するなど、アジア・豪州において31年以上にわたるマネジメント経験を有する。近年では、中東地域でのマネジメントも手がけるなど、主に製造業、マーケティング、流通、食品等でのビジネス経営経験を有する。また、オマーン大使（シンガポール常駐）を努め、過去にはシンガポール・中東地域ビジネスグループの会長や広東省・シンガポールビジネス経済カウンシルの共同議長を務めた。さらにシンガポール関節炎財団通常理事会の理事を務めるなど社会活動にも従事している。

本県との関わりは、2011年に知事を表敬訪問しシンガポールセミナー講師を務め、

以後度々静岡県を訪問している。2012年6月から2023年3月まで静岡県対外関係推進員（東南アジア）に就任。2023年にも静岡・シンガポール・アグリフードフォーラム出席のため静岡県を訪問している。

イ 主な会談内容

（交流・人材育成について）

- ・昨年、ITE の関係者と静岡県に行った。学生の交流をもっとしたいと考えている。例えば静岡県の農林環境専門職大学への留学（短期でも）とか。シンガポールの学生は目がキラキラしていてとても意欲的である。
- ・AOI パークとのイノベーションが役に立っている。サステニアの実績に続いてほしい。そのために継続的な関係が重要である。
- ・静岡県の農産物や加工品をもっとシンガポールで売りたいという問いに、流通する物産は目まぐるしく変わるため、商品を手にとって価値を伝えるには、物産展やイベントで売りむと効果があると示唆。今はイチゴが人気であるとのこと。
- ・静岡県と IT や AI でイノベーションを起こしたい。それが、人材育成にもつながる。

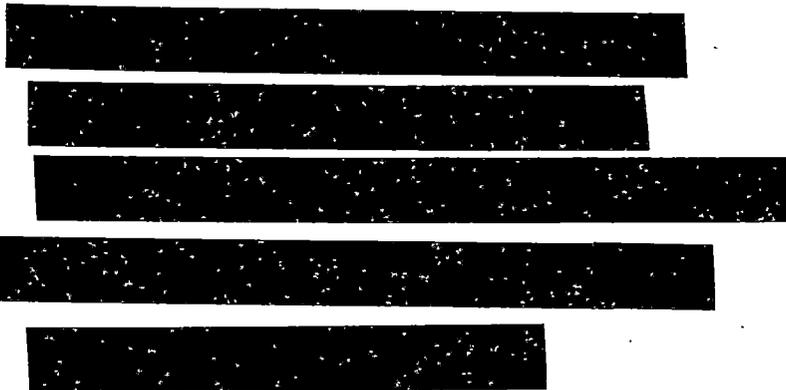
（社会情勢について）

- ・シンガポールは歴史や周辺国との関係から常に危機感を持っているので、5年後を見据えて方針や計画を見直している。
- ・シンガポールは合計特殊出生率が1.1%台で少子高齢化が進んでいる。
- ・外国人の人口が2022年時点で27%であるが、4割を超えるとバランスが崩れ危険だと考えている。

(2) 2月16日(金)

【技能教育研修所 (ITE)】

ア 対応者



イ 聴取内容

(技能教育学院 (ITE) 概要)

- ・シンガポールの職業訓練生の雇用可能性を向上させるための教育機関として設立された学校である。中等教育（日本では中学、高校に相当）を修了した後に入学する。
- ・28,000人の生徒がおり、2,600人のスタッフがいる。
- ・カレッジにはWEST, CENTRAL, EASTがあり、すべてのカレッジにビジネス専攻があり、看護、福祉、アニメーションなど様々な業界への就職に繋がっている。（同校の施設 Connectivity Solution Lab、Urban Green Hub、Horticulture Technology Hub）
- ・AOI-PARK とハイテク農業分野で協業している。
- ・令和2（2020）年11月17日、覚書締結、MOU（覚書）に基づき、下記の3つの分野において、協力・連携している。
 - ① 生産性向上のための革新的な栽培技術や品種の開発など、農業分野全体におけ

る研究開発

- ② 開発される技術や製品のグローバル市場への展開および事業化の支援
 - ③ 研究スタッフ及び学生の相互交流、インターンシップ・プログラム、並びに実験及び栽培管理に当たる人材の相互トレーニングの実施
- ・「静岡・シンガポールアグリフードフォーラム (SSAFF)」を、静岡及びシンガポールにおいて、毎年、交互に開催している。

- ① 第1回：令和2年11月17日／テマセク工科大学主催／オンライン開催
- ② 第2回：令和3年11月10日／静岡県主催／オンライン開催
- ③ 第3回：令和4年11月10日／技術教育学院主催／現地開催(オンライン併用)
- ④ 第4回：令和5年11月9日／静岡県主催／現地開催(オンライン併用)

氏は令和5年11月の「静岡・シンガポールアグリフードフォーラム (SSAFF)」に合わせて来静された。

(取組、課題の意見交換)

- ・シンガポールでは、スピードを重視し、競争力を保っている。変化やトレンドを常に重視し、着目している。
- ・今まであった職業は、変わっていく、無くなっていくものと考え、新しい仕事への着目や、DXで職場環境を改善するよう取り組んでいる。
- ・25歳から60歳の授業として、生涯学習をテーマに、働く価値観や人生何があっても生きていけるように考えることも今後の課題である。
- ・国としてオートモービルには電気自動車に取り組んでいる。こうしたトレーニング施設があるが、高層ビルが多いことから、エレベーター分野のニーズも高い。太陽光パネルの建物への設置や、貯水池への設置など、国土が狭いことが、常々

課題でありそこニーズが発生する。

- ・森をどう守るか、ドローンで果実や害虫の調査、ウッドレジスタンスで木の中身を調査する。デジタルを活用し、傾いた木を調査し、森全体を管理する。
- ・トマトの温室栽培や、魚の養殖に関しては、静岡県から多くを学ばせていただいている。あわび、かきなど大変人気で需要がある。水温、餌、など循環に関して、今後も静岡県から多くを学びたい。
- ・令和5年11月に静岡県を訪問して様々なジャンルで勉強させてもらったが、令和6年11月には、シンガポール・マリーナベイサンズコンベンションにて交流会が予定されている。是非、多くの皆様方の参加を期待する。

<質疑応答>

Q1 AOIプロジェクトの必要性にこれまで疑問があったが、ITEを視察して、シンガポールでは土地が無く、農業のハイテク化を推進せざるを得ないことが良く分かった。そこで、こうした国の方針に歩調を合わせる国民性があるのか伺う。

A1 国民も、食料の輸入に頼ってばかりいられないことを理解している。国として独立した後、シンガポール政府の部門別発表は、大変詳細でわかりやすい。国民は常に、国政に興味をもち、一般の家庭にどんな影響を受けるのか危機感をもって生活している。シンガポール政府は実践的である。

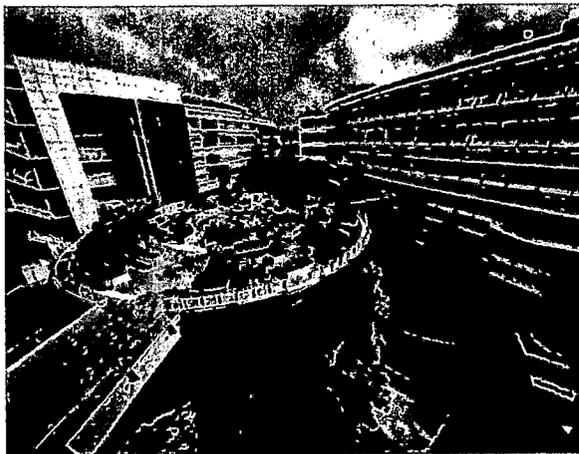
Q2 17歳から20歳の生徒の学費について伺う。国費の補助などがどれほどを占めるのか？生徒は年間どれほどの負担があるのか伺う。

A2 年間で、おおよそ500シンガポールドル（約5万円）である。政府が補助してくれるので、生徒の支払いは、本来の学費の4パーセントのみとなっている。シンガポールは教育に大変、力を入れ、未来へ投資している。こうした投資は、卒業後、

世界で活躍した人材が、再びシンガポールに戻り、国力を更に拡大してくれることに期待しているものである。



と宮沢団長



ITE カレッジ EAST

【ITE 関係者と会談】

ア 対応者

[Redacted text block]

イ 主な会談内容

(農業の現状と将来について)

- ・シンガポールは国土が狭く、農地は限られた農業団地しかなく農産物は90%以上を輸入に頼っている。そのため、食料の自給率を上げなければならない。
- ・農地が限られているため付加価値の高い作物の栽培に力を入れ、安い作物は輸入に頼っている。水耕栽培等にも力を入れていく。

- ・日本のトマトはとても甘く、フルーツのように感じる。とても野菜とは思えなかった。日本の野菜の品質はとても良い。(株)増田採種場との協業も進めていく。
- ・マレーシアから独立し、急成長を遂げたシンガポールは、東南アジア諸国からどう思われているのかという問いに、マレーシアから40パーセントの野菜を輸入している。シンガポールが栄えれば、周辺諸国も栄えるとの認識でいてくれると思っている。

(教育について)

- ・教育に力を入れているが、日本は大学に受ければそれで終わりで満足する者が多い。シンガポールはどうかという問いに、シンガポールに受験はない。相応の大学に、高校までの成績で先生が判断し、その指導で進む。そこで何を学ぶかが重要である。しかし、小学校6年生で人生が決まるとも言われ、メガネをかけている子供が多い。多くの子ども達が、将来のために猛勉強しているとのこと。
- ・シンガポールは幼・小・中・高・大と試験が多く、子育てに関してはストレス社会である。

(社会状況について)

- ・国土が狭く山林がないため水の供給が足りていない。海水を真水にしたり、使用済みの水を浄化し再利用したりしているが、飲料水はほとんど輸入である。
- ・国が豊かになるとハングリー精神がなくなるので、国民が意識を高く持つようにしなければならない。
- ・就職率や就労はどんな状況かという問いに、若者の離職率は高い。おおよそ2年で職を変える。こうした状況は、時代にあった職に移るとのことで良い意味で認識しているとのこと。

- ・今の若者は、国の独立時に頑張った世代の皆様のように競争力を持っているかという問いに、貧しい国に行き、宿泊させ、安いホテルでも、文句を言わせないよう、学ばせたいと思っているとのこと。

(観光について)

- ・日本はシンガポール人の旅行先としてとても人気がある。特に北海道、東京、京都、大阪、福岡、沖縄などが人気である。静岡との関係も深めたい。

【Sustenir (サステニア) 社】

ア 対応者



イ 聴取内容

- ・2014年創業。屋内ハイテク農場でケール、レタス等を栽培しており、年間収穫量は90tを超える。
- ・令和4年に開催された第3回静岡・シンガポールアグリフードフォーラムを契機に磐田市の(株)増田採種場とのマッチングを実現した。
- ・(株)増田採種場の種を使い現地で栽培したケールをシンガポールのDON DON DONKI各店で令和5年2月から販売を開始した。
- ・主にGABAをより多く含むケールを1袋8シンガポールドルで販売している。他の製品より10%~20%高い値であるが、人気商品である。
- ・無農薬で持続可能な製品に与えられる3星製品である。室内での無農薬のため洗わずに食べることができる。

・ケールの粉末加工品の開発も進めており、現在ジュースを販売している。

<質疑応答>

Q1 サステニアの目指すところは

A1 栄養価の高い GABA の開発を(株)増田採種場と進め、スーパーフード企業を目指す。

Q2 新製品の開発は進めているのか

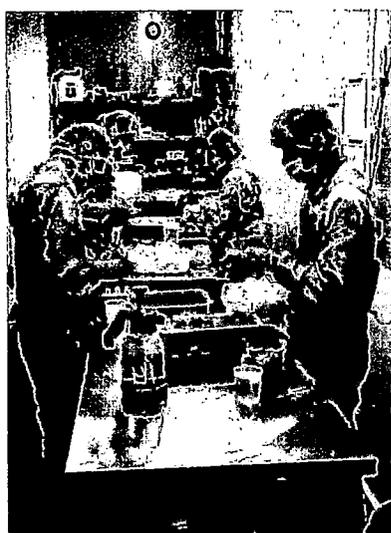
A2 ケールの粉末加工品の開発を進めている。すでにジュースはプレミアムスーパーマーケットで1本5.9 シンガポールドルで販売している。

Q3 今後の事業展開は

A3 (株)増田採種場と栄養価の高い GABA の開発を進め、アセアン諸国への輸出を目指していく。

Q4 日本や静岡県への要望はあるか

A4 ケールの栽培に日本とシンガポール両国の支援をいただきたい。



工場内の作業

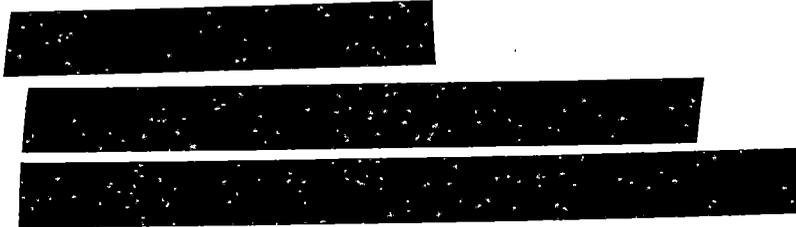


工場内の栽培状況

(3) 2月17日(土)

【DON DON DONKI (ドンドンドンキ) Orchard Central 店】

ア 対応者



イ 聴取内容

2017年12月に1号店として開業した「ドン・ドン・ドンキ オーチャードセントラル店」を、3名のスタッフに同行してもらい、店舗内を案内していただいた。

- ・「ジャパンプランド・スペシャリティストア」をコンセプトとし、店内のほとんどの商品が日本産品であり、現地の日本人のみならず、各国の観光客やシンガポールの人にも安心して購入できる点が評価されている。現在、シンガポールに16店舗を展開している。
- ・静岡産のお茶や、この店舗では品切れだったが静岡産のいちごも販売している。
- ・オーチャード通りは日本で例えると銀座のような場所なので、ここに商品をPRしてくる会社は多い。まずはテスト販売をしてみてから継続的に扱うかを判断する方式にしている。
- ・2年ほど前から高まっている健康志向ブームを考慮しながら扱う商品を決めていくことを重視している。
- ・静岡県とは令和5年度新規事業「海外戦略品目売上拡大事業」実施のため、株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス(PPIH)と委託契約を締結しており、令和5年11月時点では同期間中に達成すべき輸出額拡大

の目標値を 10.3%上回るほか、プライベートブランド3商品（老舗茶屋のサラサラパウダー：緑茶、ほうじ茶、玄米茶）を販売するなど順調に推移している。

- ・ジャパンブランドは高いイメージがあるので、価格を崩していくのが当初からの課題だった。売れ筋商品はPB（プライベートブランド）として販売していく等の工夫が課題である。

<質疑応答>

Q1 これまでの苦労した点は

A1 政府の基準が厳しい点には苦労した。規制のハードルは高いがクリアしてしまえば、差別化が図れるのが現実。

Q2 商品は日本の産地から直接に送ってもらうのか

A2 浦和に配送センターがあり、そこからまとめて送ってもらう方式をとっている。

Q3 関税に関しては苦労しているか

A3 酒くらいで、他は特にない。タバコはそもそも輸入が禁止されている。

Q4 日本の産地で人気なのはどこか

A4 北海道、沖縄くらい。そもそも地名を知らないのが現状なので、商品が売れてからその産地を覚えていく。



サステニアのケールを販売



日本の食材を使ったおにぎり

県外調査概要書

令和6年2月19日

会派名・議員氏名 自民改革会議 宮沢正美

目 的	本県と東南アジアの交流の現状と課題についての調査
年 月 日	令和6年2月14日(火)～18日(日)
場 所	シンガポール
内 容	<p>1 行程 三島駅⇒品川駅⇒羽田空港⇒チャンギ国際空港⇒シンガポール視察 チャンギ国際空港⇒羽田空港⇒品川駅 ⇒三島駅</p> <p>2 対応者 <u>報告書</u> <u>を参照。</u></p> <p>3 聴取内容 <u>報告書</u> <u>を参照。</u></p> <p>4 県政への反映</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県東南アジア事務所が設置されているシンガポール国内を視察する機会を頂いた。県単独で事務所を構えているのは北海道と沖縄だけであり、その費用対効果について関心のあるところであったが、様々な事案に対して迅速、かつ柔軟な対応が可能であるということで、静岡県と東南アジア各国との交流促進に活躍している駐在員の竹田所長以下スタッフの皆さまに敬意を表したい。しかし、インドやインドネシア、マレーシアなど広大なエリアを担当しており、駐在員事務所の在り方について検討する必要性も痛感した。 ・シンガポールは人口 600 万人余の小さな国であり、ある意味静岡県と同規模の地域であるが、活力に満ちた大変勢いのある地域である。東南アジアのハブとなる地域としての発展を目指す国の方針が明確であり、経済活動はもとより、教育や全ての分野において成功は、政治の強いリーダーシップによるものと推察でき、大変緩い静岡県政に一石を投じなくてはならないのであろう。 ・大変親日的で、日本に対する期待の多さも実感できたが、座学ではなく日常的な会話の中に出てくる日本は、東京、大阪、北海道、沖縄等であり、残念ながら静岡県への認識は大変薄いものであった。インバウンド等観光客の取組みを促進していくための対策を強化していきたい。

<p>県 外 調 査 概 要 書</p> <p>令和 6 年 2 月 2 0 日</p> <p>会派名・議員氏名 和田 篤夫</p>	
目 的	県とシンガポールの産業、観光、教育等の交流を深め、県の事業推進の資を得る。
年 月 日	令和 6 年 2 月 1 4 日～令和 6 年 2 月 1 8 日
場 所	シンガポール
内 容	<p>1 行程</p> <p>2 応対者</p> <p>3 聴取内容</p> <p>4 県政へ反映</p> <p>1, 2, 3については、「会派報告書」参照</p> <p>今次調査では、JETROシンガポール、世界最大規模を誇る港湾運営会社PSA、技能教育研修所ITE、ハイテク植物工業、日本から進出している食料品等販売店を視察、研修した。JETROでは、日本のビジネスをめぐるシンガポールの概況を確認、その後まず、PSAを視察、地政学的な優位性と自然災害の不安のないシンガポールならではの巨大な港湾施設は、地震の不安のある日本ではできない巨大な施設だと感じた。シンガポール国営で運営しているITEでは、明確な教育目標を掲げて、国の将来を担う人材を懸命に育てようとの強い意欲が感じられた。また、シンガポール最大級の植物工場では、今後県のAOIプロジェクトとの連携を強めることの重要性を改めて感じた。[REDACTED]との意見交換では、シンガポールという小さな都市国家として生き残るためには、成長・発展に寄与できる良好なプランを速度を持って達成させることが、国際競争に打ち勝つポイントであり、我々は、先の保証のない厳しい情勢の中でどのように成長していくかを常に真剣に考えることこそ小国の宿命と自覚しているとの言葉が非常に印象に残った。</p>

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県外調査概要書

令和6年2月29日

会派名・議員氏名

自民改革会議

鳥澤由克

<p>目的</p>	<p>本県と東南アジア交流の現状と課題についての調査</p>
<p>年月日</p>	<p>令和6年2月14日(火)～18日(日)</p>
<p>場所</p>	<p>シンガポール</p>
<p>内容</p>	<p>1 行程</p> <p>2 応対者</p> <p>3 聴取内容 <u>※1～3について会派報告書と参照。</u></p> <p>4 県政への反映</p> <p>シンガポールの概要は、面積720平方キロメートル人口約564万人民族構成は中華系74%マレー系14%インド系9%であり多民族国家、政治体制は立憲共和制(英連邦加盟)議会は一院制、政府は1府15省と50を超える法定機関からなるまた地方自治体は存在せず国の各省庁や法定機関が行政サービスを提供している。主要産業製造業(エレクトロニクス、化学関連、バイオメディカル、輸送機器、精密機械)ビジネスサービス、運輸、通信業、金融サービス業。実質GDP成長率は3.6% 対日貿易額は(単位:10億円)輸入1,292 輸出2,934 在留邦人数32,743人となっている。 東南アジア駐在員についてはプラザ合意以降の急激な円高に伴う県内中小企業の海外展開を支援する目的にジェトロシンガポールセンターの共同事</p>

務所として設置された。今回訪問して直接報告を受けた
経済分野活動に加えて、観光、文化、教育分野等の交流により東南アジアと
本県との交流促進と併せて本県中小企業の進出拠点機能を果たす重要性を
再認識した。

PSA (port of Singapore authority) シンガポールに本部を置く世界最大の
港湾運営会社の一つ。シンガポール港湾庁が民営化されてPSAになった。

42ヶ国の160拠点で事業運営をしている。

TEUのコンテナ積み替え能力を持つ世界最大のハブを運営。本県も規模的
な相違はあるものの将来の清水港を中心とした本県における港湾整備議業、
機能強化、賑わいの創出等の将来展望に結びつく考え方を得た。

ジェトロシンガポール事務所においては、木村事務所長より

- ・シンガポール日系企業の支店（南アジアも見据えた広域事業視点、オープ
ンイノベーション・ハブ）
- ・シンガポールからの対日投資
- ・日本からのシンガポールへの農林水産物・食品の輸出

などの内容説明がなされた。シンガポールとマレーシア・フィリピンとのビ
ジネス拠点としての優位性の比較においては法整備状況（外資優遇・規制な
ど）や税制優遇（法人税、物品税、輸出入関税）等が優位になっているため
本県企業の進出において高まる南アジアの市場・成長性に期待が持てると思
じた。

シンガポールでの国産食糧販売状況を視察し静岡県産品の輸出促進につな
げるためシンガポールに16店舗を展開しているドンドンドンキを視察し
関係者から直接聴取をした。ジャパンブランドスペシャリティストアをコン
セプトとして県産品をはじめとして多くの日本の産品を販売している。東南
アジア事務所を通して県産品の取り扱い拡大に積極的に取り組んでいる。今
後の県産品の輸出拡大の施策展開に取り組むべき期待感が高まった。

現在、株式会社パン・パシフィックインターナショナルホールディングスと
令和5年「海外戦略品目売り上げ拡大事業」による委託契約締結による県産
品フェアの開催、新商品等環境整備を通じて輸出拡大を図っている。

達成すべき輸出額拡大の目標値を10.3%上回りプライベートブランド3
品目を発表するなど実績評価が高まっている。南アジアにおける本県のより
積極的な輸出施策展開が必要と感じた。

県外調査概要

令和6年2月29日

自民改革会議 加畑 毅

<p>目的</p>	<p>静岡県と東南アジア、南アジア、オセアニア地域との交流を促進するため、静岡県東南アジア事務所をはじめ各機関をシンガポールに開設している。現在のシンガポールにおけるビジネス、観光、教育、文化、行政の分野についての状況や情報収集を行う。</p>
<p>年月日</p>	<p>令和6年2月14日(水) ~ 令和6年2月18日(日)</p>
<p>場所</p>	<p>シンガポール共和国 (静岡県東南アジア事務所、JETROシンガポール事務所、シンガポール港湾庁PSA、技能教育研究所ITE、Sustenir社植物工場、DON DON DONKI Orchard Central店)</p>
<p>内容</p>	<p>1 行程 (2月14日) 各地→羽田空港 10:55 発→シンガポールチャンギ空港 17:30 (現地時間、以下同様) 着 (2月15日) 静岡県東南アジア事務所視察 (10:00~10:30) →JETROシンガポール事務所視察 (11:00~12:00) →シンガポール港湾庁視察 (15:00~16:00) XXXXXXXXXXと会談 (18:00~20:00) (2月16日) 技能教育研究所 (ITE) 視察 (9:00~11:15) →ITE関係者と会談 (12:00~13:30) →Sustenir社 (植物工場) 視察 (14:30~16:00) (2月17日・18日) DON DON DONKI Orchard Central店視察 (13:00~14:00) →チャンギ空港→羽田空港着 18日 5:55 着 (日本時間)</p> <p>2 対応者 3 聴取内容 1~3に関しては、別紙「静岡県議会シンガポール訪問報告書」河原崎 全議員提出【3-12-2-12】を参照。</p> <p>4 県政への反映</p>

	<p>シンガポール共和国は、面積が東京 23 区ほどの 720 平方キロメートルで、人口は 564 万人なので福岡県(511 万人)の 10%増しの規模。</p> <p>北のマレーシアと南のインドネシアを常時意識しながら、自国のポジションを確認する運営スタイルで、地方自治体は存在せず、国の各省庁や法定機関が行政サービスを提供しているので、政府の発表を常に国民が感心を持つ傾向にある。</p> <p>静岡県は東南アジア、南アジア、オセアニア地域との交流促進のため、シンガポールに事務所を開設して情報収集を行っている。</p> <p>シンガポールの世帯所得は日本円で 1200 万円くらいで、共働きが多く裕福な社会となっており、静岡県産品を売り込んでいきたいところ。特に日本の銀座にあたる、オーチャード通りの店舗に PR を行い、2 年ほど前から高まっている健康ブームに利用しながら、これからの県政に活かしていきたい。</p>
--	--

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県外調査概要書

令和6年2月19日

会派名・議員氏名 自民改革会議 加藤祐喜

<p>目的</p>	<p>本県は平成25年に経済、観光、文化、教育分野での交流促進を通じて、東南アジアの活力を取り込むことを目的に東南アジア駐在員事務所をシンガポールに単独設置した。シンガポールを中心とした東南アジアと本県の交流の現状及び今後の展望を調査するためシンガポールを訪問した。</p>
<p>年月日</p>	<p>令和6年2月14日～令和6年2月18日</p>
<p>場所</p>	<p>シンガポール</p>
<p>内容</p>	<p>1 行程 2 応対者 3 聴取内容 上記1～3に関しては、別紙「令和5年度静岡県議会シンガポール訪問報告書」を参照。</p> <p>4 県政への反映 シンガポールの国としての姿勢は非常に見習うところが多くあった。限られた資源を最大限に生かすために国民も政府も同じ方向を向き進んでいるように感じた。シンガポールには日本でいう県がない。その為、国民も国という存在を意識しやすく関心を持ちやすい。また、国土も資源も限られているため最大限生かそうと工夫をしている。そのような国と交流をしていくためには本県の誇る先進的な技術や豊かな農産物等をいかにアピールしていくかが課題である。現在行っているサステニア社との交流等を契機に促進をお願いしたい。</p>

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

<p>県外調査概要書</p> <p style="text-align: right;">R6年 3月 29日</p> <p style="text-align: center;">会派名・議員氏名 自民改革会議 佐地 茂人</p>	
目 的	<p>① AOI プロジェクトの海外展開として技能教育学院（ITE）を視察し、今後の連携等を考える。</p> <p>② シンガポール港湾庁を訪問し、物流の先進技術を学ぶ。</p> <p>③ 県内企業と協業している Sustenir 社を訪問し、ハイテク農業の成果を学ぶ</p>
年 月 日	令和6年2月14日（水）～18日（日）
場 所	シンガポール
内 容	<p>1 行程</p> <p>2 応対者</p> <p>3 聴取内容</p> <p>4 県政への反映 別紙 視察報告書</p> <p style="font-size: 2em; margin-left: 100px;">}</p> <p style="margin-left: 100px;">会派視察報告書参照</p>

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

静岡県議会シンガポール視察報告書

令和6年2月14日(水)～2月18日(日)

提出者 佐地 茂人

聴取内容(所感)及び県政への反映について

全体 シンガポールは、536.7万人の小さな国で隣接した周りの国の環境変化に対応する必要性、「明日の成功の保証はない」とした国の意識が定着しており、常に時代に敏感になり、何をしたら国のためになるか、いつも危機感を持って政策を考えている。市町といった日本の地方自治体的な組織は、ほとんど仕事がなく、国民は国の予算に注目している。国民は、比較的自分の生活にかかわる予算に敏感で政治に興味を持っている。子どもは高校から自分の進路に向けて、大学・短大・職業専門学校への道に向かう高校へ進学する。つまり、中学生で学業成績による進学の振り分けがされる。ただし、自分に向かない職に就いた後の仕事を変えるサポート、受け皿もしっかりしている。先進国同様、子どもは減っており、小学校を昨年7つ閉校にしたという話は、決断がスピーディーという意味で驚いた。

日本や静岡県がシンガポールと経済交流することは、重要である。それは、アジアの中で個人所得収入が高いこと、国土が狭く資源が乏しいこと、農業等の生産力がなく輸入に頼っていることがある。ただし、国を守るための関税が高いことは課題であるが、現在少しずつ日本の農作物が食品売り場でみられるようになってきている。また、環境やIT・デジタル等のイノベーションの活用を産業技術に取り入れる日本・静岡県とのウィンウィンの関係が構築できると感じた。

① AOIプロジェクトの海外展開として技能教育学院(ITE)を視察

ITEは、国の職業技術訓練専門学校である。農業・看護・建築土木・車や航空といった働くための専門技術を取得するための学校であり、高校生と卒業後の学生が学んでいるが、職を変えたい20から30代ぐらいの若者も見受けられた。ここでは、本県の東部地区で行っているAOIプロジェクトを活用した「LED技術を活用した水耕栽培による研究と民間業者と連携した実践」を行っていた。彼らの数名の生徒と先生が昨年、AOI拠点や本県の民間会社を訪れ採用した研究の成果を視察した。今後の展開を聞いたところ、種類や品種を増やす研究や光の当て方で成長速度を上げることなど、まだまだAOIとの関係は継続していきたいとのこと。本県が享受できるメリットを打ち出していくことが重要であると思った。例えば、日本語が課題になるが、静岡県の農業大学への研修生や留学生を思いやることや静岡県の学生を無償で留学できる受け入れ態勢を思いやることかできないかと思う。また、将来の本県の大学構想にシンガポール大学やITEと連携できるつながりを持っていきたいと感じた。

② シンガポール港湾庁訪問、物流拠点の見学

シンガポール国より、新港湾拠点整備と港湾管理を委託されているPSAインターナショナル(民間会社)を訪問し、状況の説明を受ける。政府は、2040年までに西側に新港湾として拡大する計画が

あり、国策として推進している。コンテナターミナルが主軸となり、人出不測の解消もありコンピューターの遠隔操作で積み降ろし作業を行っていた。新港湾は、環境、デジタル化、防災といった面も考慮し、世界で有用する国際港湾を目指すとのこと。清水の鈴与（株）の現地スタッフからも話を聞くことが出来たが、やはり、太平洋側にある清水港なので、輸出はもとより輸入についてもこうした大きな太平洋側の海外港湾とのコネクションが重要であることを再確認した。海外の荷主と港湾会社、シンガポール国に清水港にもより多くの荷物を運んでもらうようにインセンティブ活動を県で進めていくことが重要であると感じた。

③ Sustenir（サステニア）社のハイテク農業における成果について

磐田市の増田採種場の技術を提供して、LED を活用した水耕栽培でシンガポールに工場を設置した。主にケールを栽培・販売している。借りているビルの中が工場と研究室になっていることはびっくりした。すごいと感じたことは、光と水の与え方で色、大きさや苦さをコントロールしていること。新種の研究もされていて、今でも磐田市の増田社長にいろいろ相談している。やはり課題は、販売金額で普通の野菜よりも高いので、日本・静岡ブランドで美味しさと信頼でファン層を獲得していくことだと感じた。食料生産率が低いシンガポールでは、有効であるし、静岡の食料品や加工品もこうした会社を通じてシンガポールで将来様々な農産物を販売できないかと考えた。

やはり、静岡や富士山をシンガポール人に覚えていただくことが重要で、リパブリックな場所やテーマパーク、イベントで静岡産の農作物や特産品をもっと販売・紹介をする機会を県として作っていくことが良いと思う。

様式第2号

<p>県外調査概要書</p> <p style="text-align: right;">令和6年3月19日</p> <p style="text-align: center;">会派名・議員氏名 自民改革会議・望月香世子</p>	
目的	<p>県単独事務所を置くシンガポールにおける現状を視察、ハイテク農業や技能教育、市場開拓といった近年の動向を注視し県の事業推進の質を得る。</p>
年月日	<p>令和6年 2月14日 ～ 2月18日</p>
場所	<p>シンガポール</p>
内容	<p>1 行程 2月14日～2月16日については「静岡県議会シンガポール訪問報告書」1行程(1)～(3)を参照 2月16日視察終了後、チャンギ空港 2:15 発(現地時間)、羽田空港 9:50 着(現地時間)にて帰国</p> <p>2 対応者 「静岡県議会シンガポール訪問報告書」参照</p> <p>3 聴取内容 「静岡県議会シンガポール訪問報告書」参照</p> <p>4 県政への反映 シンガポールは、日本と同じく狭い国土で人口も少なく同様の課題が存在する一方、北部にマレーシア・タイといった他国に隣接し、島国である日本と異なる点も見受けられた。国民は常に変化にさらされていることを意識し今、社会が必要としている人材を育成することに行政も民間も一体となって技能教育に力を入れていることが印象的であった。食料自給率をカロリーベースで向上させるために、ハイテク農業で栄養価の高い農産物を作る一方、日本の農産物の美味しさに驚きと関心が高く、静岡県事業である「海外戦略品目売り上げ拡大事業」実施を通して、静岡県を知ってもらうことがより交流促進に資すると思われる。</p>

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県外調査概要書

令和6年2月19日

会派名・議員氏名 自民改革会議 江間治人

<p>目的</p>	<p>本県は平成25年に経済、観光、文化、教育分野での交流促進を通じて、東南アジアの活力を取り込むことを目的に東南アジア駐在員事務所をシンガポールに単独設置した。シンガポールを中心とした東南アジアと本県の交流の現状及び今後の展望を調査するためシンガポールを訪問した。</p>
<p>年月日</p>	<p>令和6年2月14日～令和6年2月18日</p>
<p>場所</p>	<p>シンガポール</p>
<p>内容</p>	<p>1 行程 2 対応者 3 聴取内容 上記1～3に関しては、別紙「令和5年度静岡県議会シンガポール訪問報告書」を参照。 4 県政への反映 シンガポールの都市形成において、土地の狭さと580万人の人口を効率よく作り上げている様子が伺えた。高層ビルは様々な奇抜なデザインの建築で、地震ない国とは言え、不安を感じてしまう設計だった。物価の高さは欧米並みで、日本の消費力の低さを痛感した。食料自給率10%とほとんど輸入に頼っている状況や少子高齢化の進む人口動態にも現地の方々は大きな懸念と言っていた。 静岡県が経済的なつながりを持つ機会が多くあるが、さらに伸ばしていける可能性を感じた。特に食料関連は、流通や加工、圃増田採種場との種等の輸出も今後増えるだろう。県としては、果実やわさびなどの特色ある農産品の輸出を促進していくこと、企業との連携を持っていくことが重要で、議会としても後押しをしていく必要があると思う。</p>

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県外調査概要書

令和6年2月19日

会派名・議員氏名 自民改革会議 小沼秀朗

<p>目的</p>	<p>世界が急速に発展するなか、アセアン諸国も目覚ましい発展を遂げている。本県は平成25年に経済、観光、文化、教育分野での交流促進を通じて、こうした東南アジアの活力を取り込むことを目的に東南アジア駐在員事務所をシンガポールに単独設置した。シンガポールを中心とした東南アジアと本県の交流の現状及び今後の展望を調査研究し、静岡県経済振興ほか県政の各分野振興策に繋げることを、今回の県外調査における目的とする。</p>
<p>年月日</p>	<p>令和6年2月14日～令和6年2月18日</p>
<p>場所</p>	<p>シンガポール</p>
<p>内容</p>	<p>1 行程 2 対応者 3 聴取内容 上記1～3に関しては、別紙「会派視察報告書」（令和5年度静岡県議会シンガポール訪問報告書）を参照。 4 県政への反映 シンガポールは、未来への投資として、教育分野に予算を掛けている。静岡県政にもこうした明日に繋がる施策や姿勢を反映させたい。 学校での教育は、社会で即通用する実践的な内容が主であり、経済発展に向けた内容が大変色濃いことが特徴的だ。例えば、農業分野ならば、生産性向上のための革新的な栽培技術や品種の開発など、農業分野全体における研究開発や、開発される技術や製品のグローバル市場への展開および事業化についてを学んでいる。こうした事例は是非、静岡県に反映し、「静岡県の農業振興」や「ものづくりの静岡県」を復活させたい。 研究スタッフ及び学生の相互交流、インターンシップ・プログラム、並びに実験及び管理に当たる人材の相互トレーニングの実施など、常にスピードを重視し、競争力を保っている。そのため変化やトレンドを常に重視し、着目している。こう内容を静岡県政に反映させ競争力を持った県民性を高めたい。</p>

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

県外調査概要書

令和6年2月19日

会派名・議員氏名 自民改革会議 赤堀慎吾

<p>目的</p>	<p>本県は平成25年に経済、観光、文化、教育分野での交流促進を通じて、東南アジアの活力を取り込むことを目的に東南アジア駐在員事務所をシンガポールに単独設置した。シンガポールを中心とした東南アジアと本県の交流の現状及び今後の展望を調査するためシンガポールを訪問した。</p>
<p>年月日</p>	<p>令和6年2月14日～令和6年2月18日</p>
<p>場所</p>	<p>シンガポール</p>
<p>内容</p>	<p>1 行程 2 対応者 3 聴取内容 上記1～3に関しては、別紙「令和5年度静岡県議会シンガポール訪問報告書」を参照。 4 県政への反映 シンガポールは静岡県のマーケティング戦略の主要国であり、県産品の販路拡大先として位置づけられている。シンガポールでは日本産品の「安全性・高品質」への高い信頼性があり、「日本ブランド志向」がある。また、シンガポールにおいては成人病、特に糖尿病罹患率が増加傾向にあり、国民の健康志向が高まっているほか、国の健康増進施策も進められている。機能性野菜への関心があることや、政府が食料国内自給率向上を推進するために海外の優れた種苗や栽培システムを受入れて国内生産化を目指している。こうしたことから、本県はAOIプロジェクトの海外展開の取組としてシンガポールのテマセク工科大学等と連携し、農業・食品関連生産分野における共同研究や事業化を推進している。 静岡県東南アジア駐在員事務所、JETROシンガポール事務所での研修や野菜生産工場、技能教育学院等を視察することにより、本県とシンガポールの交流の現状及び今後の展望を調査し、今後の県産品の輸出拡大等に活かしていく。</p>

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

差出人: Zoom Video Communications, Inc. <receipts+acct_1LowExGyKmk8qW8L@stripe.com>
送信日時: 2024年2月20日火曜日 14:41
宛先: [REDACTED]
件名: Zoom Video Communications, Inc.の領収書 [#1209-3880]

Zoom Video Communications, Inc.からの領収書

領収書番号 1209-3880

お支払い金額	お支払い日
¥23,375	2024/02/19 21:40:34

サマリー

お支払い先: Zoom Video Communications, Inc.	¥23,375
ご請求金額	¥23,375

ご不明な点がございましたら、<https://support.zoom.us/hc/en-us/requests/new> からサポートサイトをご覧ください。また、billing@zoom.us へお問い合わせください。または +1 888-799-9666 までお電話ください。

メールの内容が適切に表示されない場合はブラウザでご覧ください。